

視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業について

千葉市発達障害者支援センターに情報支援機器を設置する予定です。
(平成 23 年度中を予定)

視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業について

主に視覚障害者等に関する情報支援機器の整備や普及啓発、広報等を目的とした事業で、国の要領に基づき県が基金を造成し、市町村が実施する際に補助を受けることができます。

本事業は平成 21 年度～平成 23 年度を実施期間とした時限的なものですが、平成 23 年度には、発達障害が対象に加わり、発達障害の特性を勘案した情報支援機器についての啓発及び広報を行うものが補助対象となりました。

本市でも、本事業を活用して情報支援機器を購入し、千葉市発達障害者支援センターに設置することにより、相談者に対する情報提供や、イベント時に展示するなど、機器の普及啓発等を実施する予定です。

情報支援機器について

現在、以下の情報支援機器を購入予定です。

●携帯用会話補助装置●

言葉の遅れや発語障害等によりコミュニケーションが困難な方に対して、あらかじめ録音したメッセージを音声出力と液晶表示で相手に伝達するものです。

●スケジュール管理機器●

スケジュール管理や時間の概念理解が困難で先の見通しがたてられない方に対して、時間の流れを液晶ドットやライト等で表し、時間の経過を視覚的に確認するとともに、絵や図柄等で次の行動を示すものです。

●イヤーマフ●

聴覚過敏により学習や就労等に集中できずに混乱等する方に対して、周囲の音や反響を軽減、遮断し、より混乱の少ない環境を提供するものです。

購入時期について

千葉県からの補助金交付決定後に購入するため、平成 23 年度後半（1 月以降）を予定しています。

(注) あくまでも現時点での予定であり、今後変更があり得ることを申し添えます。